

企画・制作・主催 うきうきプロジェクト

オペラ

ある水筒の物語 よりの(抜粋)

台本・演出/高木 達 作曲/伊藤 康英
指揮/大河内 雅彦 オーケストラ/メレオハナオーケストラ



The Tale of the Blackened Canteen
Opera in Two Acts

2021年 **11月18日(木)** 18:30開演(18:00開場) 会場: 清水テルサホール JR清水駅下車、みなと口より徒歩約5分。



主催: うきうきプロジェクト 後援: 静岡新聞社・静岡放送、静岡市





うきうきプロジェクト代表
仲戸川 知恵子
NAKATOGAWA CHIEKO

オペラを通じ平和の輪を。

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございます。2019年の初演後、新型コロナウイルス感染症が世界中で、猛威をふるいました。

私達音楽家もこの一年半は、活動が制限され、集客を伴う活動が出来ませんでした。ですがこの間、生活様式だけでなく、人と人とのコミュニケーション方法や音楽の配信なども今までとは、違う形が生まれたのです。そして、どんな時でも、安らぎと平安を与え、心豊かにしてくれる音楽は、お客様にも私達演奏者も生きるうえで、必要な要素なのだと実感しました。

時間の都合により抜粋になりますが、今回は、フル上演、そして、ハワイ公演を目指し、活動を行って参ります。

今後とも、うきうきプロジェクトをご支援の程、宜しくお願い致します。



静岡大学 客員教授
平野 雅彦
HIRANO MASAHIKO

だから歌う。歌い続ける。

モノとはなにか。われわれは直ぐに、カタチのある「物質」を思い浮かべる。そこに何も疑問を覚えない。ならば問いたい。ものものしい、もののはれ、ものさびしい、ものがなしい、もののけ、ものおもいにふける、ものす、ものし、というときのモノとはどんな物質か、と。

実は、元来モノとは目には見えない気配であり、「ものがたり」を抱えた存在そのものなのである。

オペラ「ある水筒の物語」(「晩禱(I幕)」、「朝禱(II幕)」)に登場するひしゃげた水筒もまた、物であり、同時に物を超えて語りかけてくる記憶という存在である。全体と個人、生と死、怨みと許し、渇きと潤い、実態と気配…その意味は想像を超えて重い。

許し合うには時間がかかる。けっしてショートカットは許されない。だから歌う。歌い続ける。そうして言葉を交わす。オペラだからこそできる、それを強く信じて。過去は塗り替えられない。だが乗り越えることはできる。



医師
菅野 寛也
SUGANO HIROYA

慰霊、鎮魂を行わずに 和解、平和はあり得ない!!

プロフィール 1933年生まれ。著書「たったひとりの慰霊祭」日米戦没者の慰霊を続ける医師88歳。少年時代2,000人以上が犠牲になった静岡空襲を体験した菅野氏は、1972年から47年間にわたって空襲の犠牲となった市民と、静岡市内に墜落したB29のアメリカ軍兵士の合同慰霊祭を続けている。1991年からはハワイの真珠湾を毎年訪問し、真珠湾攻撃で沈んだ戦艦アリゾナの上に作られた記念館、アリゾナメモリアルで日米戦没者の慰霊も続けている。その活動は年々広がり、2016年初めて開かれた日米両国の公式の追悼式典の実現に繋がる。安倍総理大臣と、アメリカの当時のオバマ大統領の共同会見も行われた。菅野氏も出席。菅野氏は敵味方無く死者を悼むことこそ、平和への道筋だと考えている。



ある水筒の物語

The Tale of the Blackened Canteen

Opera in Two Acts



配役

出征兵士の妻	横山 靖代
光の君	田川 理穂
夕顔(A女)	望月 智代
六条(B女)	坪井 のどか
少年	安藤 あやこ
かあちゃん	小林 教子
老夫婦の夫	田中 夕也
老夫婦の妻	佐藤 典子
誠(老夫婦の息子)	三浦 幸未知
ジム(爆撃手)	市川 浩平
僧侶	大石 陽介
ドクター	紀野 考洋
ジムのパパ	伊藤 尚人

概要

1945年(昭和20年)6月19日深夜から20日未明にかけてアメリカ軍B29爆撃機により、旧静岡市は未曾有の大空襲に見舞われた。

市街地は徹底的に破壊され、2千人あまりの市民が犠牲になった。

その空襲では2機のB29が空中衝突して、アメリカ軍飛行士が亡くなった。

晩祷と朝祷の2幕からなるこのオペラは、1幕では静岡大空襲の悲劇を描いている。

また2幕では、戦後伊藤福松からB29搭乗員の焦げた水筒を託された菅野寛也が、慰霊と平和を唱え、敵味方を超えた慰霊祭を広げてゆく様子が描かれる。

あらすじ

第1幕「晩祷」

合唱隊が壮大な夕暮れの情景を歌う。

富士山から湧いた雲はすそ野を覆い、雲海から屹立する頂が夕焼に染まり始めた。群青の闇が天空から沈み、静岡の町並みに夕暮れが迫る。

すると、1日が終わる安堵と、夜を迎える不安の声が聞こえてくる。そして、戦時下での人々の暮らしのエピソードが歌われる。

第1話「出征兵士の妻の日記」

3か月前、出征した夫から届いた手紙。その手紙を支えに、夫の面影を思い浮かべて気丈に暮らす若妻の日記。そのお腹には新たな命が宿っているが、夫に知らせる術はない。

第2話「光の君」

〈光の君〉とあだ名された男子大学生が入営した。その光の君と、〈夕顔〉と呼ばれたA女が恋に落ちる。ところが、夕顔と親友のB

女も光の君に恋していた。恋愛に悩む青年と女性を描いている。

第3話「ドラゴンとお姫様と王子様」

少年に童話を読み聞かせる夫婦。だが、夜勤の父親はこれから静岡駅の宿直に出かけなければならない。つかの間の家族団らんを描く。

第4話「修羅」

老夫婦は不思議な現象に導かれて〈せんげんさん〉から〈やまみやさん〉への道を上る。途中、1匹のホタルが案内するように飛ぶ。ホタルは賤機山の頂に夫婦を案内すると、戦地に居る息子の姿となる。息子は、自分は倒れた戦友を置き去りにした、と自分の罪を告白する。そして、すでに自分も死んでいると両親に告げる。夫婦は息子を戦場に送った責任を痛感し、悲嘆にくれる。

第5話「Thy way, not mine, O Lord」

これは静岡上空で衝突し、墜落した搭乗員の手紙である。「主よ 御手もて 引かせ給え ただわが主の 道を歩まん いかにも暗く けわしくとも みむねならば われいとわじ」と讃美歌を歌いながら、入隊した自分に対する両親の嘆きを心配し、気遣う手紙が歌われる。

合唱隊が大空襲の惨状を歌う。

愛しい恋人、大切な家族、大事な友人、そして慎ましい生活、貧しくも愛のある暮らしが破壊される。その無念さ、悲しさ、彼らにもたらされた残酷な運命。

合唱の最後、舞台には一つの焼け焦げた水筒が転がっている。

第2幕「朝祷」

舞台中央に焼け焦げた水筒が転がっている。

それはB29の搭乗員の水筒だ。それを拾う僧侶。彼は空襲で犠牲になった人々と共にB29の搭乗員も供養しようと考える。

合唱隊は僧侶の行為を非難するが、僧侶は敢然と供養を行う。

戦争は終わった。

焦げた水筒は僧侶からドクターに託された。ドクターは広く慰霊と平和を唱える。そして、水筒を敵味方の平和の架け橋として慰霊を行ってゆく。

その慰霊に敵味方を超えて、1人2人3人とたくさんの人々が参加してゆく。その声が次第に増えていき、重唱になる。敵味方を超えて慰霊と平和が歌われた時、夜が明けて来る。

合唱隊とソリスト全員が壮大な夜明けを歌う。

夜の間は天上に去り、海上からは曙光が世界を照らし始め、空には鮮やかな群青が戻ってくる。そして、太陽が昇って、生きとし生けるものを照らし、地上には鮮やかに色彩が溢れて、全世界が燦然と輝く。

平和な1日の始まりである。



Profiles



台本・演出
高木 達
TAKAGI TOHORU

慈しみの眼差し 鉄の視線

まだオペラ台本の構想も浮かばない頃、「静岡市空襲の記録」を読んだ。この本には体験談が町ごとにまとめられている。記録を基に当時の市内地図を作り、そこにB-29がどこから侵入し、どの町に焼夷弾を落とし、どう抜けて行ったかを描いた。

僕は今、福島県の海沿いに住んでいる。東日本大震災でほとんどの家が流された町だ。あれから8年が過ぎ、ちらほら家が建ち始めた。だが、二階から見下ろすと、いまだに造成地が多い。そのためか東から西まで百八十度の視界が開ける。夕暮れは厳かだ。陽が沈むのは見えないが、たなびく薄雲の下が赤く染まり、高空の青色が次第に紺色に変わり、天頂には星が輝き始める。まさに自然が奏でる厳かな祈り、晩禱だ。

思わず声が出た、「わあああ、わあああ」と。すると、

僕は雲になっていた。いや、雲の上から周囲を見渡していた。雲峰が見えた。山から広野へ、畑から町へと、僕は雲のように流れてゆく。そして、眼下には静岡の町並みがあった。人々が生活を営む家々が見えた。

昭和20年6月19日、静岡…そこには、泣き、笑い、愛し、憎み、苦しい戦時下で慎ましく生きる人々がいた。そうだ、それを描こう、慈しみの眼差しで。

だが、一瞬戦慄した。あの時、B-29もこうして市街に侵入したのだ。搭乗員もこうして眼下の町を凝視していたのではないのだろうか、鉄の視線で。

このオペラは夜闇が不安な世界を呑み込み、朝日が平和な世界を照らし出すまでを描いた祈りの物語である。

(劇団青年座/チームスマイル・いわきPIT劇場監督)



指揮
大河内 雅彦
OKOCHI MASAHIKO

1971年生まれ。愛知県立岡崎高校を経て、東京芸術大学器楽科卒業。

これまでに指揮をハンス・グラーフ、カール・エステルライヒャー、湯浅勇治、小松一彦、広上淳一の各氏に師事。第49回(2005年)プザンソン国際指揮者コンクール セミ・ファイナリスト。

2002年4月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員として飯守泰次郎・矢崎彦太郎両氏のもとで研鑽を積む。同団副指揮者を経て、2007年6月より、東京シティ・フィルのアソシエイト・コンダクターに就任。この間に同団の100公演以上を指揮。

これまでに、広島交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、大阪市音楽団、シエナ・ウィンドオーケストラ、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、東京都交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪シンフォニカー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京佼成ウィンドオーケストラを指揮。オペラ分野では、日生劇場開場50周年記念公演「メディア」および「リア」に、音楽スタッフとして参加。

2014年12月には、マケドニアの首都スコピエと第二の都市ピトラにて、マケドニア国立オペラ・バレエ劇場の「夕顔」公演(協力:東京オペラ)を指揮する。この他に「フィガロの結婚」、「魔笛」、「椿姫」(抜粋)、「奥様女中」を指揮。

2006年度より上野学園大学音楽文化学部非常勤講師。

ソリスト



出征兵士の妻
ソプラノ
横山 靖代
YOKOYAMA YASUYO

東京芸術大学音楽学部声楽科、同大学院修了。静岡の名手たち、東京文化会館新進音楽家オーディション合格、イタリア声楽コンクール全賞。静岡・東京にて9回のソロリサイタル開催。常葉大学短期大学部音楽科非常勤講師、混声合唱団ひびき常任指揮者、静岡県オペラ協会理事、二期会会員。



夕顔
ソプラノ
望月 智代
MOCHIZUKI CHIYO

常葉短大専攻科、二期会オペラスタジオマスタークラス、プロフェッショナル特修、日本オペラ振興会修了。県学生コンクール3位。第2、4回静岡の名手たち、コンセルヴィンファン合格。カワイクラシックオーディション入賞。アジア国際音楽コンクール2位、トスティ歌曲国際コンクール秋篠日本歌曲賞2位。



光の君
メゾ・ソプラノ
田川 理穂
TAGAWA RIHO

La Riho's club主宰。国立音楽大学声楽科卒業。S.Sammaritano氏のもと研鑽を積む。また、岩淵嘉史氏のメソードと出会い「歌うことは語ることを学び、現在に至る。オペラをより多くの方々に楽しんで頂くべく「オペラ講座(指揮者のトークショーと生演奏)」を毎月行っている。



六条
ソプラノ
坪井 のどか
TSUBOI NODOKA

常葉学園短期大学専攻科音楽専攻修了、同短大専攻科音楽専攻卒業。同短大卒業演奏会、修了演奏会に出演。横山靖代に師事。現在、すみやグッディおとサロンふじえだピアノチケットレッスン、おとサロンオーレやさしい声楽こどもの声楽講師。



少年
ソプラノ
安藤 あやこ
ANDO AYAKO

富士市在住。静岡県立清水南高校芸術科出身。幼少期〜現在までオペラやミュージカルに多数出演。現在、静岡県立清水南高校中等部表現講師。富士市民ミュージカル歌唱指導。静岡県演奏家協会、静岡県オペラ協会、静岡室内歌劇場、各会員。



かあちゃん
ソプラノ
小林 教子
KOBAYASHI NORIKO

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。二期会オペラスタジオ第37期マスタークラス修了(修了時、優秀賞受賞)。現在、常葉大学短期大学部音楽科非常勤講師、沼津情報・ビジネス専門学校非常勤講師、不二聖心女子学院高等学校非常勤講師。



老夫婦の妻
メゾ・ソプラノ
佐藤 典子
SATO NORIKO

国立音楽大学卒業。藤井京子、角丸裕、故伊田栄子の各氏に師事。歌劇「カルメン」、「蝶々夫人」、「こうもり」等に出演。「第九」、「レクイエム」、「メサイア」、「復活」、「大地の歌」等のソリストを務める。常葉大学、藤枝順心中学校・高等学校各非常勤講師。静岡県オペラ協会理事。



老夫婦の夫
バリトン
田中 夕也
TANAKA YUYA

香川県出身。東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。同大学院音楽研究科オペラ専攻を修了。第61期二期会オペラ研究所マスタークラス修了。第64回豊大オペラ(魔笛)のパバゲーンでオペラデビュー。



誠(老夫婦の息子)
テノール
三浦 幸未知
MIURA YUKIMICHI

武蔵野音楽大学卒業。イタリアへ留学。モーツァルト「戴冠式ミサK.317」ソリスト。オペラではブッチェニ「ラ・ボエーム」でデビュー。近年イタリア・ソレント市後援による日伊国交150年行事に出演。以来、コンサート他、日伊文化交流にも努めている。



ジム
テノール
市川 浩平
ICHIKAWA KOHEI

東京藝大卒業(松田トシ賞)、同大学院、二期会研究所修了(川崎静子賞、最優秀賞受賞)。日本音楽コンクール入選、日伊声楽コンクール3位、奏楽堂日本歌曲コンクール3位他多数受賞。東京二期会では「アルチーナ」オロンテ、「魔笛」タミーノ等で出演。日生劇場「コジ・ファン・トゥッテ」ではフェルランドも演じる。

練習ピアニスト



今野 千春
KONNO CHIHARU

沼津市出身。東京芸術大学ピアノ科卒業。静岡音楽館AOI「静岡の名手たち」コンサート、静岡市美術館企画コンサートなどに出演。SBS静岡県学生音楽コンクール審査員。三善晃ピアノコンクール審査員。



中原 達彦
NAKAHARA TATSUHIKO

作曲家・編曲家・ピアニスト。1968年長崎市生まれ。福岡教育大学および同大学院を経て、東京芸術大学別科作曲専修を修了。作曲を故・内山信、川崎絵都夫、故・尾高惇忠の各氏に、ピアノを福田伸光氏に師事。



僧侶
バリトン
大石 陽介
OISHI YOSUKE

香川県出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科音楽教育専攻科修了。令和2年度島田市芸術文化奨励賞受賞。オペラ「妖精ヴィッリ」のグリエルモ役、「椿姫」のジェルモン役等でオペラに出演している。



ドクター
テノール
紀野 洋孝
KINO HIROTAKA

沼津市生まれ、大分県出身。東京芸術大学卒業。同大学院修士及び博士課程修了、博士号(音楽)取得。日本トスティ歌曲コンクール2015第2位及び秋篠日本歌曲賞受賞。令和元年度奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。麻布中学・高等学校専任教諭。



ジムのパバ
バリトン
伊藤 尚人
ITO NAOTO

常葉大学短期大学部音楽科卒業。同大学専攻科音楽専攻修了。第50回福井巖賞受賞。第11回東京国際声楽コンクール本選大学生の部第2位。第12回東京国際声楽コンクール本選新進声楽家部門3位。第1回国際声楽コンクール東京新進声楽家部門第1位。これまでに丸茂智以、羽山晃生、横山靖代各氏に師事。

オーケストラ メレオハナオーケストラ

- コンサートマスター/印田 千裕
- ヴァイオリン/越智 久美子 廣田 碧 山永 陽子 伊勢 久大 菅野 千伶
- ヴィオラ/飯野 和英 七海 加奈
- チェロ/寺井 創 木下 通子
- コントラバス/照井 岳也 大黒屋 宏昌
- フルート(ピッコロ)/三枝 朝子
- オーボエ(イングリッシュホルン)/神農 広樹
- クラリネット/大成 雅志
- Cl2(BCI)/船木 喜行
- Fg/工藤 子
- ホルン/堂山 敦史 木村 隆 岡村 陽
- トランペット/築地 徹 森 麻美
- トロンボーン/奥村 尚美 西方 舞
- 打楽器/古川 翔也 山元 風吾
- ピアノ/今野 千春 中原 達彦

うきうきプロジェクトとは

そも
そも



■活動の目的

静岡県の芸術文化向上と発展のために活動する団体です。静岡県の文化芸術の底上げを目指し参加者相互のスキルを高め合い、ウキウキ、ワクワクする企画の準備・運営の業務を円滑に進め、その活動を世界中に発信して行く事が目的です。静岡市の人口の減少は、大きな問題であり、2015年より報道でも大きく取り上げられることとなりました。自分たちの持っているスキルを存分に発揮しながら楽しむことを目的としグローバルにこの活動を発信しています。静岡県の文化芸術の向上を考え、総合芸術であるオペラ制作に向けての勉強会やグローバルな交流会を開催いたします。



プロジェクトロゴマーク

(制作者:静岡大学大学院生 野尻 鈴香)

全国より32作品の中から選定されました。

よくある
ご質問



■うきうきがなぜ戦争のオペラ?

静岡でうきうきわくわくすることを行う、うきうきプロジェクトが平和への祈りを込めた鎮魂のオペラ制作に関わる。

一見矛盾しているように思えるかもしれませんが 慰霊・鎮魂・平和への祈りという母体があって初めて私たちは安心できる平和な世の中で暮らす事ができ、うきうきわくわく出来ると思います。

SNSやネットは、沢山の情報があふれています。ボタン一つで買い物が出来るなど便利なメリットがある反面、ネット上の情報が全てと思ってしまう偏った考えになってしまうデメリットがあります。

その情報に振り回されてしまっている現代の人々に、あらゆる角度からあらゆる視点からものを見ることの大切さを伝えたい。そうすれば、今まで見えなかったものが見えてくるはずだからです。あらゆる角度からあらゆる視点からものを見るには、人と人が呼吸を感じられる距離でふれあう必要があると考え、その最大のソフトが「オペラ」なのです。

サイコロの底辺に、慰霊・鎮魂・平和への祈り。そして4つの柱。

- ・知 知識・学び=喜び
- ・愛 愛情・思いやりの心=信じる
- ・仲 仲間・友達・絆・コミュニケーション=関わる
- ・勇 勇気・チャレンジ精神=前に進む

の上に、うきうきわくわくがある思いのサイコロを世界中にころがしていきます。



世界初演
と今後



■静岡・ハワイオペラ構想について

うきうきプロジェクトは、本オペラ公演を静岡グランシップをスタートに、2021年にはハワイでの公演を目指しています。

2018年12月6日には厳戒なセキュリティの中、パールハーバーにてオフィシャルな慰霊祭が執り行われました。25年前は、日本人が入ることができなかったこの場所にうきうきプロジェクト・メンバーも出席させていただき、許す、許さない、謝る、謝らないではなく犠牲者に対して慰霊・鎮魂することが平和への第一歩であると説く菅野先生の言葉が皆さんの心を動かしたのだと思いました。

グランシップ公演後はプロジェクトメンバーにて「音楽と平和について」をコンセプトとし、アウトリーチとして県内の学校へコンサートを行う予定です。それと同時に2024年のハワイ公演の準備へと進んで参ります。

調べて
みませんか



■静岡県内の空襲の記録や当時の暮らしなど

当時の事を身近な方や、おじいさん、おばあさんにぜひ聞いてみてください。また、お近くの図書館や資料館を訪ねたり、HPなどもご覧ください。

- 静岡平和資料センター <http://www.shizuoka-heiwa.jp/>
静岡市葵区伝馬町10-25 中央ビル90 2階
- 浜松復興記念館 <http://www.fukkoukinenkan.com/>
静岡県浜松市中区利町304-2
- 総務省HP <http://www.soumu.go.jp/>



静岡空襲 慰霊祭

2022年6月22日(水)予定
静岡市葵区賤機山慰霊碑前
静岡空襲の犠牲者と、墜落した米軍爆撃機
B29の搭乗員を追悼する日米合同慰霊祭。
医師 菅野氏が運営し、毎年行われている。



■寄付金、協賛金のお願い

今回のプロジェクトは、既存の作品を上演するのではなく、オペラを制作するところから始めておりますので莫大な資金が必要です。2021年のハワイでの公演を目指し、今後も皆様のあたたかいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

個人 一口 5,000円から 企業 一口 10,000円から
振り込み先/静岡銀行 北安東支店 普通 0722904 うきうきプロジェクト

お問い合わせ

うきうきプロジェクト事務局
TEL.050-6869-9969,080-5139-5800
E-mail:ukiukishizuoka@gmail.com



公式LINE